

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	山下いづみ（19）	<p>1. 住宅弱者への居住支援について</p> <p>平成29年4月に住宅セーフティネット法（住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律）が改正され、同年10月に施行された。この背景には、高齢者、障害者、子育て世帯、外国人等、住宅の確保に配慮が必要な「住宅確保要配慮者」の増加が見込まれている一方で、民間の空き家や空き室が増加しており、それらを活用して住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の供給を促進する目的がある。静岡県居住支援協議会が設けられており、富士市を含めた20市町が名を連ねている。</p> <p>新たな住宅セーフティネット制度の3つの柱は、①住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度、②登録住宅の改修や入居者への経済的な支援、③住宅確保要配慮者に対する居住支援です。</p> <p>富士市においても空き家対策は必須の課題であり、何よりも住宅弱者が住居を確保し、彼らの生活を包括的に支援することができる。</p> <p>そこで、以下4点について質問する。</p> <p>(1) 静岡県居住支援協議会の活動内容は、富士市ではこの協議会にどのようにかかわっているのか。</p> <p>(2) 新たな住宅セーフティネット制度について、富士市内の不動産関係者や福祉団体などどのように周知しているのか。</p> <p>(3) 住宅確保要配慮者への居住支援はどのようなことを行っているのか。</p> <p>(4) 住宅確保要配慮者への居住支援のため、富士市の福祉、住宅行政、民間団体と連携する居住支援協議会を設けて、新たな住宅セーフティネット制度を推進してはどうか。</p> <p>2. 性の健康教育について</p> <p>近年、性暴力について痛ましいニュースを聞く。家族や知人からの暴力、就労の場やデートDVと公共あるいは私的な場で起きている。性被害に遭うことのないように、子どものときからの教育と、性暴力を許さないといった社会風土をつくる必要がある。実際、性被害に遭い、守られなければならない人たちが、誹謗中傷されることがある。性教育は重要であるが、親、大人たちが教え方がわからない。話題にしにくいテーマだと性について話すことをちゅうちょするということも聞く。</p> <p>自分の身を守る予防教育として、性の健康教育は必要であると考えます。</p> <p>そこで、以下3点について質問をする。</p> <p>(1) 子どもの発達段階に合わせた性教育が必要であると考えるがどうか。幼児、小中高校では、どのような教育が行われているのか。</p> <p>(2) 親や大人を対象にした講座等が行われているのか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
16	山下いづみ（19）	（3）男女共同参画学級事業で過去3年開催されている親子対象の「ぼくとわたしの体のふしぎ～知っているようで知らない性のはなし～」を保健師や学校の先生に知っていただき、それぞれの地域や学校で同様なセミナーを実施していく取り組みは可能か。	市長 及び 教育長 担当部長